

プレゼン入門 ～スライド作成編

効果的なプレゼンのためのスライド作成

京都産業大学コンピュータ理工学部

水口 充

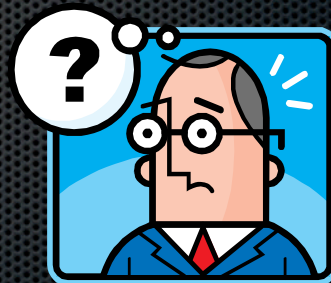
プレゼンテーションとは

- 聴衆に何かを伝える→説得する
- どうやれば説得できる？
- 話を聞いてもらう



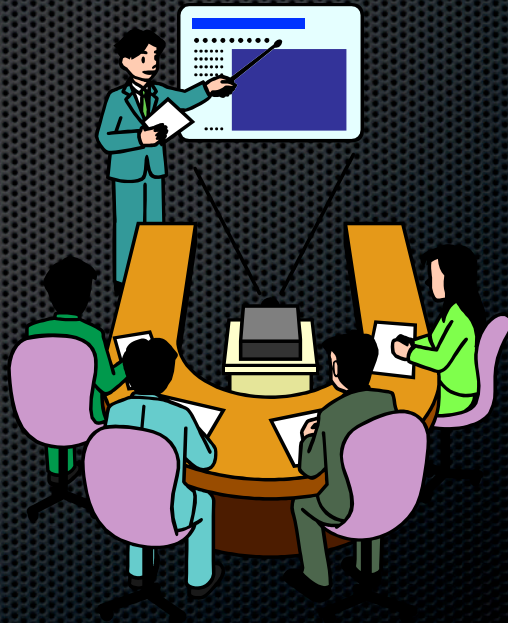
意識しておくべき重要な事実

- 聴衆の集中力はたいして高くない
- 聴衆の記憶力はそんなに良くない
- 聞いていても理解しているとは限らない



そこでスライド

- ✦ 話を理解する手掛かり
- ✦あとはご自由に



スライド作成のTips

デザインの4つの基本原則

- 近接 関連のある項目は近づける
- 整列 見えない線で揃える
- 反復 全体で一貫させる
- コントラスト 違いをはっきりさせる

The Non-Designer's Design Bookより

近接

- 関連のある項目は近づける



整列

- 見えない線で揃える



反復

- 全体で一貫させる



コントラスト

- 違いをはっきりさせる



1枚のスライドには1つの話

- 表題が付けにくいと思ったら危険信号
- 1枚のスライドで1分が限界

近接

整列

反復

コントラスト

文を読ませない

- スライド中に文章が書いてあると、聴衆はそれを必死に読もうとしてしまい、話者の話なんか聞きちゃくれなかったりするし、沢山文字が書かれてごちゃごちゃして見づらいたらありゃしないじゃないか。
- 例外
 - 演出上の効果
 - 話が聞き取りにくい場合

改行を綺麗にしよう

- 2行に分かれてしまった項目が変な場所で改行されると読みにくい気がする
 - 気にしない人も多いが.....
 - そもそも長すぎない？

近接
整列
反復

コントラスト

空間を巧く使おう

- 空白を恐れない

近接

整列

反復

コントラスト

なにか絵を貼っておこう

- スライドを印象づける
- 後で「〇〇のあったスライド」と参照しやすい

視線を誘導する

- 基本は上から下、左から右
- ビルドを効果的に使う

あれ

これ

それ

近接
整列
反復

コントラスト

思い出させる

- 忘れてそうならもう一度見せる
- 手掛かりをスライドに埋め込む
 - プレゼンの構成
 - 図やグラフ

近接
整列
反復

コントラスト

統一と崩し

- 全体を揃える
 - スライドのデザイン
 - スライド切り替えのアニメーション
- 強調させるところは**大胆に**変える

近接
整列
反復

コントラスト

一番いいフォントを頼む

- サンセリフ系が無難
 - Helvetica (Arial), ゴシック体など
- セリフ系は難易度高し
 - 遠くから読みにくいことがある
 - うまく使うと効果的（だが難しい）
- 装飾系はTPOに合わせて

でっかいことはいいことだ

- 小さいと読めない

- 微妙にサイズを変えない

- 2、3種類がベスト

72pt

64pt

48pt

36pt

24pt

18pt

近接

整列

反復

コントラスト

色キチ注意

- 強調したい箇所だけに色をつける
 - いろんな色をつけまくらない
 - あちこち強調しまくらない
- 見にくい色を使わない
 - 背景とコントラストの大きい色がよい
 - 輝度の高い色は眩しい
 - 色飛びに注意

近接
整列
反復

コントラスト

過剰な演出はやめよう

- アニメーションがっこいい!!

こんなのとか

こんなのとか

こーんなのとか

こんなのもある

.....うぜー

近接

整列

反復

コントラスト

テンプレートを過信しない

- 日本語に適さないデザインが多い
- 芸風を作り上げる

やっぱり芸風

- 「〇〇メソッド」と呼ばれるプレゼン手法
 - 高橋メソッド
 - もんたメソッド
- そういう人だと思われた者勝ち

高橋メソッド

単語だけ

一見簡單

準備も楽しそう

実は難しい

相当な話芸が必要

素人にはおすすりめできない

そもそも、もう流行ってないしwww

もんだメソッド

- この夏、節電が重要
 - 使わないときは [REDACTED]
 - [REDACTED] に買い換える
 - いっそ [REDACTED]

最後に

- ルールは破るためにある
- Enjoy!!